

令和2年度 第4回 行財政改革推進会議

議事要旨

〔日 時〕 令和3年2月17日（水） 午後6時30分
〔場 所〕 昭島市役所 3階 庁議室（オンライン開催）
〔出席者〕

1 委員

小池満也委員長、田中啓之副委員長、坂村一登委員、山下俊之委員、和田篤彦委員

2 事務局

永澤企画部長、横山行政経営担当課長、和田公共施設再編・調整担当係長

3 傍聴者

なし

〔配布資料〕

- ・第4回行財政改革推進会議 日程
- ・昭島市行財政改革推進会議 報告書（案）
- ・第3回会議議事要旨（案）

〔議事要旨〕

1 第3回会議議事要旨の確認

事務局より事前配布した内容にて各委員了承。

2 日程及び会議開催方式の変更について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言の発令に伴い、1/27から2/17に開催日を変更とした。また、宣言延長によりオンラインでの開催とした。

3 昭島市行財政改革推進会議 報告書（案）について

今年度の会議における評価及び検証をふまえたうえで、報告書（案）を提示。概要について事務局より説明し、その後、各委員より質疑。

〈質疑応答〉

- ◆ 4ページの「基幹系システム計画的な～」について「基幹系システムの計画的な～」とするのがよろしいと考える。また、下の表では「更新」とあるが、本文では「改修」とあるため、表現を統一したほうがよい。【山下委員】
- 表現を統一することで修正する。【事務局】

- ◆ 5ページの「積極的な情報発信」について、市ホームページにおけるオープンデータの公開について、「検討」とあるが、取組を進めるといふ姿勢を見せていただきたいため、「進める」といふような表現が望ましいと考えるがいかがか。【田中副委員長】
- 今後、行政のデジタル化を加速していかなければならないが、その中でオープンデータについても全庁的に進めていきたいと考えている。ご指摘のとおり、公開を「進める」といふ表現に修正する。【事務局】
- ◆ 評価シートで言うと25ページに該当する。こちらの「今後の取組方針」の中にも表現を入れても良いのではないか。【小池委員】
- 評価の中で「進めていく」といふ方針を踏まえ、今後の取組として実際に進めていくものであるため、こちらにも記載をすることとする。【事務局】
- ◆ 11ページの「子ども発達プラザホールが開設したことから～」とあるが、「子ども発達プラザホールを開設したことから～」の方が表現としては正しいのではないか。【山下委員】
- ご指摘の通り修正する。【事務局】
- ◆ 11ページの「指定管理者制度やPPP／PFIの活用」について、「導入結果のモニタリングを行いながら」のフレーズを入れるとよいと考える。36ページの評価シートが該当し、「今後の取組方針」に「モニタリングを行いながら」といふ記載があるため、本文にも盛り込んでいかがか。【田中副委員長】
- ◆ 36ページの「今後の取組方針」は将来的な方向性を示し、11ページは取組んだ内容とその評価の理由を記載する部分であるため、時差が生じてくるものと理解する。【小池委員長】
- ◆ 承知した。委員長の意見に賛同する。【田中副委員長】
(他委員も了承)
- ◆ 評価区分について、平成29・30年度はA評価が33項目に対し、令和元年度は31項目と2項目で評価が下がっている。内容は2-(2)-①「遊休地の積極的な売却や貸付に向けた取組」(3-(4)-②に同内容で再掲)と3-(4)-①「公共施設等総合管理計画に基づく取組の推進」である。特に後者については、コロナ禍における今後の財政規模が縮小されるとの想定をふまえて、個別施設計画の策定が1年延びたことにより評価であったと思うので、そのあたりを本文にもう少し盛り込んで良いのではないか。【和田委員】
- 委員の仰る通り、コロナ禍における今後の財政状況の見通しが立たないことから、策定を1年先送りにしたことにより、評価をBとしたところである。11ページの本文中に「コロナ禍による影響で財政見通しが立たないことから個別施設計画の策定を1年間の後ろ倒しをした」といふような記載をし、そのような状況により評価をBとした旨を記載する方向で検討したい。【事務局】
- ◆ 表現については、只今事務局から提示のあった内容に賛同する。コロナ禍という外部要因により市の財政に影響が出ているということはこの報告書を通じて市民や関係者に分かってもらえれば良いと感じている。【和田委員】
- ◆ 今のご指摘について、ほかの委員はいかがか。【小池委員長】
(委員了承)

- ◆ 23 ページの1-(1)-①「危機管理体制の確立」の「今後の取組方針」について、「新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、市民の一人ひとりの対策や、支援事業などについて、対応方針をまとめ～」とあるが、読んだ方によっては市民への個別対策を行っていくと捉えられてしまう恐れがある。恐らくそのような対応は想定していないと考えるため、表現を修正したほうが良いと考える。【和田委員】
- 対策本部の設置要綱から文言を引用しているが、ご指摘を受けて誤解を招く表現であったと認識するため、表現を修正する。【事務局】

- ◆ 31 ページの2-(2)-①「遊休地の積極的な売却や貸付に向けた取組」(37 ページ、3-(4)-②にも同内容で再掲)について、以前の会議の中では元年度の取組として「売却に向けた交渉を実施」という文言があったが、今回削除されているが、行動を起こしたのであればその旨を記載した方がよいと考える。【和田委員】
- 会議中では売却への交渉を実施した旨を説明したが、改めて担当課に確認したところ、交渉を進めたのが実際には令和2年度の実績であることが確認されたため、表現を修正した。当初の説明に誤りがあり申し訳ない。【事務局】

- ◆ 報告書の評価内容は記載のとおりでよろしいと考えているが、コロナ禍において将来への財政的な見直しが迫られてきている中で、今後もコロナによる影響が各取組項目に関係してくる部分が記載している内容の他にもあると考える。この点について今のままで十分かどうか、若干気になる場所である。【山下委員】
- ◆ 「はじめに」の中段に「今後の行財政の運営にあたっては～」とあるが、この部分にコロナの対応を含めて、文言を追記するのはいかがか。【小池委員長】
- ◆ 基本的には委員長の仰るとおりであるが、それを個別の取組項目の中により具体的に記載しておく必要があるかどうか議論したい。【山下委員】
- ◆ コロナ禍において財政の影響が深刻になっていくということをこの委員会でも認識しているという趣旨が報告書を読む方にも伝えていかなければならないと考える。【和田委員】
- コロナ禍における影響については、40 ページの評価シート内の「今後の取組方針」で触れているが、さらに個別に記載していくというよりは、コロナ禍における今後の市の考え方も含めて、報告書内に別途集約的に盛り込むことで調整したい。【事務局】
- ◆ 歳入歳出の状況が変わらざるを得ない状況にあることや、基金の取崩しもどの程度できるか、今後、当然取組まざるを得ない部分となってくる。報告書のどの部分に盛り込んでいくかを含めて、今後、事務局と委員長にて調整することとしたいがいかがか。【小池委員長】

(委員了承)

- ◆ 他に無いようであれば、報告書(案)の議題については、以上としたい。本日ご指摘いただいた内容をふまえ、事務局と委員長にて調整していきたいので、ご一任いただいでよろしいか。【小池委員長】

(委員了承)

4 その他

事務局より、報告書の策定と市長への報告について、今後の流れを説明し、各委員の了承を得て閉会とした。なお、報告書については、本日の議論をふまえて事務局と委員長にて内容を修正後、修正案を各委員にご確認をいただいたうえで最終版を策定する。その後、3月中に本会議を代表して小池委員長より市長へ報告していただくこととする。